

鎌倉文華館 鶴岡ミュージアム

鎌倉文華館 鶴岡ミュージアムは、鶴岡八幡宮の文化活動の中心となっています。展示プログラムは、鶴岡八幡宮と鎌倉市の文化と歴史に焦点を絞ったものが中心となっています。ミュージアムは四角い建物で、設計したのは先駆的なモダニズム建築家のル＝コルビュジエ（1887-1965）に師事した坂倉準三（1901-1969）です。建物全体が重要文化財に指定されています。当初この建物は、日本初の公立の近代美術館である神奈川県立近代美術館の鎌倉館として建てられ、1951年にオープンしました。同美術館は2016年に閉館し、鶴岡八幡宮によって建物を改修したのち、2019年に再オープンしました。改修後のミュージアムでも、自然光を取り込める中庭や2階のL字型の展示室など、坂倉による設計はそのまま残されています。1階の屋根付きのテラスからは平家池を眺めることができ、水面に映った光が揺れ動きながらテラスの天井に反射します。ミュージアムのギフトショップでは、鶴岡八幡宮や鎌倉に関連したアイテムが売られており、隣接した建物にはカフェがあります。